

●太田昭宏国土交通相(公明党)に水害サミット実行委が提言!



太田昭宏国土交通相(公明党)は、2月12日国交省で「水害サミット実行委員会」の発起人である國定勇人三条市長らから、これからの水害対策に関する提言を受けた。これには、野崎正志、笹川信子両三条市議が同席した。

國定市長からは、ハード、ソフト両面にわたる事前防災・減災の重要性を強調。①河川改修等の災害対策と財源措置。②想定を超える水害リスクの分析強化した上で市町村との情報共有。③防災教育の充実。などを訴えた。

こうした意見を受け太田国交相は、提言内容に理解を示し前向きに検討していく意向を示しました。

●参議院選挙の意義について

- (1)現在のトレンド(経済変動の動向など)を続けていく為には、公明党の躍進が重要。
- (2)公明党の政策立案力、合意形成能力が必要である。
- (3)2月26日の補正予算が成立、ねじれの中で1票差ながら可決した意義は大きい。
- (4)迅速・着実な成果。前政権とはスピード、信頼性、安定感が違う。

●それは、参議院から始まった。公明党の歴史は、参議院から始まりました。

「福祉」を政治の柱に据えた。「現場第一主義」の伝統は今も。

